

大垣市民病院における診療放射線技師新人教育ワーキンググループ(WG)の取り組み

大垣市民病院 医療技術部 診療検査科 画像部門 新人教育 WG

○小川 定信

【はじめに】当院は、平成 21 年 3 月に日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定 (Ver.5.0) を取得した。その準備段階において私共は、撮影技術・機器管理等各種マニュアルを改訂したが、新人教育についてはこれまでマニュアルがなく、慣習的に on the job training (OJT) を実施してきた。

【目的】新人技師を採用するにあたり、最近の医療情勢・社会ニーズに対応できる医療人を育成することを目的として、平成 22 年 1 月に新人教育ワーキンググループ (WG) を発足、診療放射線技師新人教育マニュアルを作成したので、その取り組みと実績について報告する。

【WG の活動内容】当院へ配属される診療放射線技師を対象とし、最近の医療情勢および社会に対応できる医療人を育成し、通常業務や夜勤業務の教育を適切に行うための、「新人教育マニュアル」を作成する。WG は毎年 2～3 月に開催され教育マニュアルを作成するが、現場の要望があれば開催し、必要に応じてマニュアルの改訂を行う。

【方法】

1. 採用 5 年未満の技師に聞き取り調査し、新人教育の問題点を抽出した。
2. 一般撮影と救急業務に携わる 10 名の WG メンバーを選任した。
3. WG メンバーは、接遇・医療安全・感染対策等の院内活動に参加し、教育する側の意識改革を進めた。
4. マニュアル草案作成後、当院と同規模の複数施設からの助言を参考に、自己申告制チェックシート等追加し、平成 22 年 3 月に初版発行した。
5. マニュアルは毎年更新し、PDF ファイルにてサーバーにアップしている。

【マニュアルの利点】

- ・スケジュールが把握しやすいため、目標を定めやすい。
- ・チェックシートで自己評価をするため、苦手分野を把握しやすい。
- ・進捗状況に合わせたスケジュールの調整ができる。
- ・教育する側の責任感が向上し、スキルアップにつながる。

【結論】本マニュアルは、OJT のみによる教育の限界を補う事ができ、情報共有化と進捗状況把握において有用であった。今後 WG の活動を継続し、さらに質の高い技師教育に努めたい。